科目ナンバリング	U-LAS20 10001 SB48						
授業科目名<英訳>	英語リーディング ER27 1S2 English Reading			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 森口 由香		
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	木2	配当学年	1回生	対象学生	全学向

[技能領域]

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

本授業は、「一般学術目的の英語」（English for General Academic Purposes, EGAP）を目的とするものであり、学問の場にいる者にふさわしい教養と学術的言語技能を同時に育成することを目指す。この目的のために、カナダやアメリカの大学において教養教育の教科書として用いられている、Janet Browne,_Darwin's Origin of Species: A Biography_(2006)を取り上げる。

チャールズ・ダーウィンが1859年にイギリスで出版した『種の起源』は、当時の西洋世界に大きな衝撃を与え、生物学のみならず宗教・文化・思想など様々な側面に波紋を広げた。ハーヴァード大学の科学史家であり、ダーウィン研究の第一人者でもある著者は、ダーウィンが生きた時代の科学と社会を多面的に描き出すとともに、ダーウィンのもたらした長期的遺産についても論じている。本書の通読を通して、生物学・遺伝学にまつわる英語表現や語彙を修得するとともに、欧米の社会史・文化史に関する教養的知識を身につける。

翻訳するのではなく、前後関係に気をつけながら段落ごとの要旨を読み取り、ストーリーを楽しみながら英文を読み進める訓練を積み重ねる。

[到達目標]

・生物学や遺伝学に関わる英語表現や語彙を修得する。
・科学史や欧米の社会史・文化史についての教養的知識を修得する。
・前後関係に気をつけながら段落ごとの要旨を読み取り、英文を読み進める能力を身につける。
・学術活動全般に必要な英語の語彙力を増やす。

[授業計画と内容]

基本的に以下のスケジュールに沿って講義を進める。ただし進み具合によって多少変更することがある。

第1回　背景説明
第2回　Introduction
第3回　Chapter 1. Beginnings (1)
第4回　Chapter 1. Beginnings (2)
第5回　課題①　小テスト①
第6回　Chapter 2. A theory by which to work (1)
第7回　Chapter 2. A theory by which to work (2)
第8回　Chapter 3. Publication (1)
第9回　Chapter 3. Publication (2)
第10回　課題②　小テスト②
第11回　Chapter 4. Controversy (1)
第12回　Chapter 4. Controversy (2)
第13回　Chapter 5. Legacy (1)

英語リーディング ER27(2)へ続く↓↓↓

英語リーディング ER27(2)

第14回　Chapter 5. Legacy (2)
第15回　期末テスト
第16回　フィードバック　(方法は授業中に連絡します。)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

・課題×2回＝20%、小テスト×2回＝20%、期末テスト＝50%、授業への積極的取組みを含む平常点＝10%
・「欠席回数が3分の１以上の場合は単位を認定しない」という方針に基づき、5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。

[教科書]

Janet Browne 『Darwin's Origin of Species: A Biography』（Grove Press, 2008）ISBN:0802143466

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

・毎回、課題を読み段落ごとに何が書いてあるか大意を把握してから授業に臨むこと。
・課題①②は、LMS経由で提出する。内容については授業中に指示する。また小テスト①②は、指定された範囲の重要な表現や熟語について問う問題をLMS上で受験する。詳細については授業中に説明する。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィス・アワーは火曜３限または個別にメールでアポイントメントを取ってください。

[主要授業科目（学部・学科名）]